

(公益社団法人) 日本臨床工学技士会
都道府県臨床工学技士会
会長様

ー輸液ポンプの保守点検に関する教育サイト開設のご案内ー

拝啓

師走の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）にご理解を頂きまして、誠にありがとうございます。

今般、「医療機器保守管理のガイドライン策定の普及に向けた諸課題の調査研究(H26-医療-指定-032)」研究班では、医療機器保守管理のガイドライン策定のための調査研究に取り組んでおります。

昨年度は「輸液ポンプ・シリンジポンプの保守点検ガイドライン」の策定に向けた大規模アンケートへご協力をいただき、誠にありがとうございました。アンケート結果より、全医療機関が共通して利用可能な輸液ポンプの保守点検ガイドライン策定のための問題点の洗い出しと点検項目の精査などが実施できました。これらの研究結果は、平成26年3月に「医療機器保守管理の適正実施にむけた諸課題の調査研究(H24-医療-指定-047) 平成25年度総括・分担研究報告書」としてまとめ、近日中に厚生労働科学研究成果データベースに掲載される予定です。研究報告書の電子ファイルをご希望の方は、下記研究班事務局までご遠慮なくお申しつけください。

さてこの度、アンケートの集計結果から、医療機関の皆様がガイドラインを利用するために、輸液ポンプの用語や原理、構造などの資料を機器や機種に依らない内容で提示する必要があると考え、輸液ポンプの保守点検についての教育サイトを開設いたしました。

<http://plaza.umin.ac.jp/~iryokiki/>

本教育サイトでは事故事例や使用前点検の方法に関する資料に加えて、教材の習熟度をチェックできる問題・解答も盛り込んでおります。本教育サイトを、貴会会員様に幅広くご利用いただければ幸いです。

今後の本研究班における研究活動の参考のために、本教育サイトをご利用いただいた方にアンケートのご回答をいただきたくお願い申し上げます。アンケートは、本教育サイトのトップページまたはFAXによりご回答をお願い申し上げます。

この度は、日本臨床工学技士会の各都道府県臨床工学技士会会長様宛に、本教育サイト開設とご利用に関するご理解とご協力をお願いしたくご連絡を申し上げている次第でございます。

今後ともご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

平成26年12月吉日

平成26年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
「医療機器保守管理のガイドライン策定の普及に向けた諸課題の調査研究」
研究班班長 石原美弥（防衛医科大学校 教授）

研究班事務局
〒359-8513
埼玉県所沢市並木3-2
防衛医科大学校医用工学講座
Tel 04-2995-1596
E-mail medeng@ndmc.ac.jp

輸液ポンプの保守点検に関する教育サイト 「ナースのための輸液ポンプ 超入門編教育教材」 <http://plaza.umin.ac.jp/~iryoukiki/> 画面イメージ

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業） 医療機器保守点検のガイドライン策定の普及に向けた継続的調査研究（H26・医療・指定 032）

ナースのための輸液ポンプ 超入門編教育教材



ナースのための輸液ポンプ

超入門編

新人看護師を教育するための教材

病棟勉強会におすすめ！！

機器の取扱を習得する前の予備（基礎）知識

機種を特定しない基本的な知識（基本的な構造・原理・安全の基礎）

教育教材ダウンロードのための情報入力

教育教材のダウンロードをご希望の方は下記情報をご入力いただき、「確認」を押してください。

病院名	<input type="text"/>
ダウンロードされる方の職種	<input type="text" value="選択してください"/>
使用目的	<input type="text" value="選択してください"/>
<input type="button" value="確認"/>	

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業） 医療機器保守点検のガイドライン策定の普及に向けた継続的調査研究（H26・医療・指定 032）

ナースのための輸液ポンプ 超入門編教育教材

HOME

教育教材ダウンロードページ

必要な教育教材（PDF）を下記より保存してご利用ください。

- ・(1) 教育用無痛の注射薬チェック情報・解説
- ・(2) 目録
- ・(3) 輸液ポンプとは
- ・(4) 輸液ポンプの一般的な名称とその機能
- ・(5) 製品名称から学ぶ「使用目的」
- ・(6) 教育用無痛の注射薬チェック情報・解説
- ・(7) 全教材一括ダウンロード（ZIP）

上記の教材をご活用いただきました後に、本教育教材に関する簡単なアンケートへのご協力をお願い申し上げます。インターネット上でご回答いただける場合は下記よりアンケートフォームへお進みください。

FAXでご回答いただける場合は下記PDFの印刷をお願いいたします。

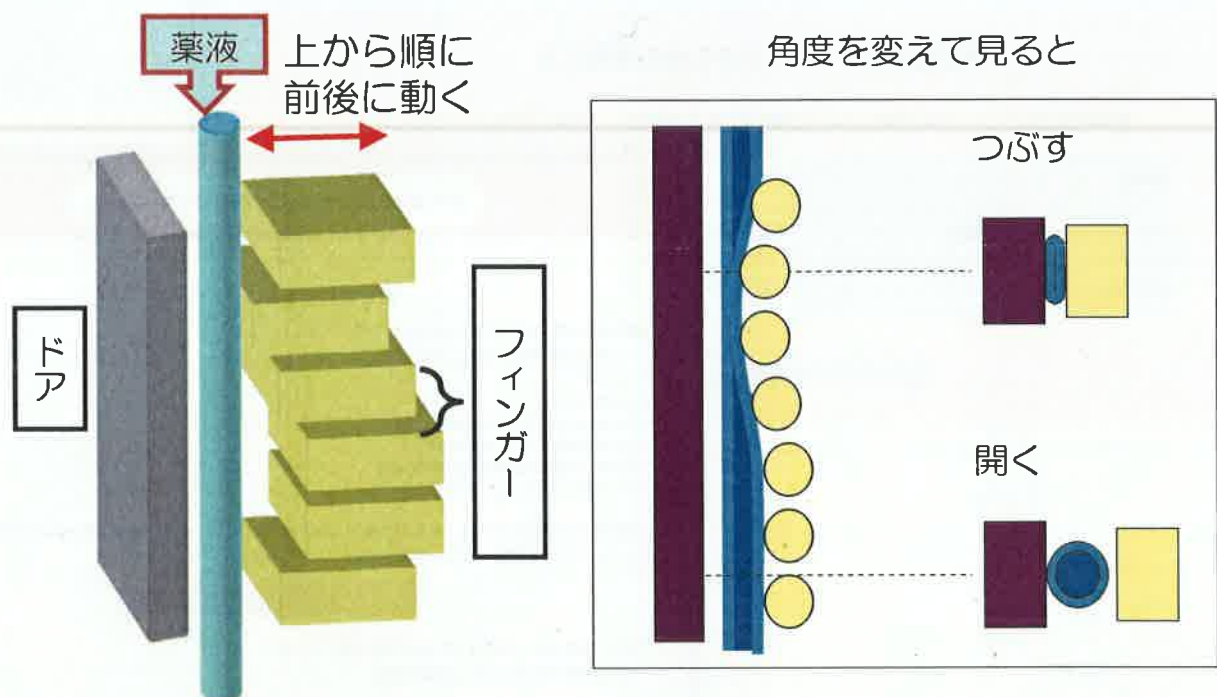
- ・全教育教材に関するアンケート回答のお願い

Copyright © ナースのための輸液ポンプ超入門編教育教材～ All rights reserved.

本教材の目標設定

1. 輸液ポンプの操作に係わる事故事例・ヒヤリハット事例から起こりうる危険な事象について学ぶ。
2. 輸液ポンプに関連する用語、原理・構造について理解する。
3. 輸液ポンプの操作に必要な物品を把握する。
4. 使用前点検の方法について、事故事例と共に学ぶ。

輸液ポンプの仕組み



フィンガ部分がチューブをしごくようにして薬液を送る方式

サイト・教材利用に関するアンケート

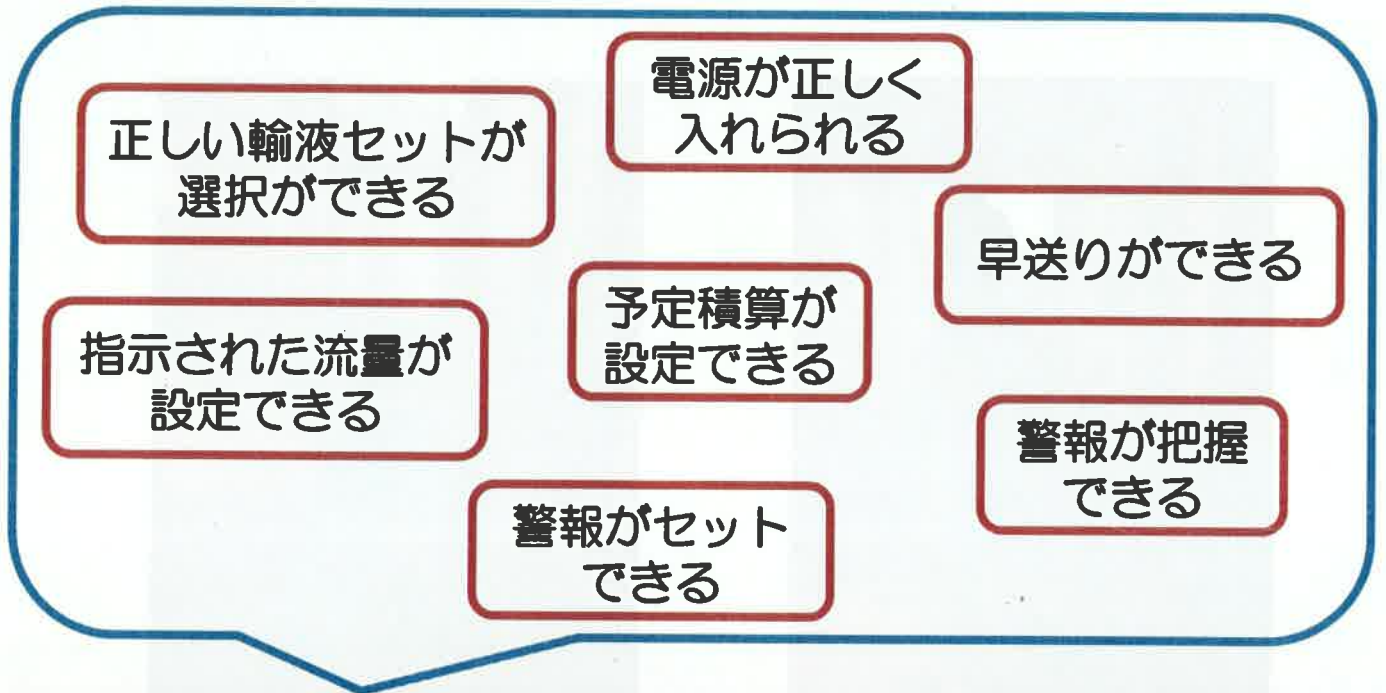
本教育教材に関する簡単なアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

病院名	
アンケートご回答者の職種	<input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 臨床工学技士 <input type="checkbox"/> 診療放射線技師 <input type="checkbox"/> 臨床検査技師 <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 薬剤師 <input type="checkbox"/> 事務職 <input type="checkbox"/> その他
本教育教材を学習した方の職種（複数選択可）	<input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 臨床工学技士 <input type="checkbox"/> 診療放射線技師 <input type="checkbox"/> 臨床検査技師 <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 薬剤師 <input type="checkbox"/> 事務職 <input type="checkbox"/> その他
ダウンロードしてご利用された教育教材（複数選択可）	<input type="checkbox"/> (1)教育実施前の理解度チェック問題・解答 <input type="checkbox"/> (2)目標 <input type="checkbox"/> (3)輸液ポンプとは <input type="checkbox"/> (4)輸液ポンプの一般的な名称とその機能 <input type="checkbox"/> (5)事故事例から学ぶ「使用前点検」 <input type="checkbox"/> (6)教育実施後の習熟度チェック問題・解答 <input type="checkbox"/> (7)全教材一括ダウンロード
教育実施前の理解度チェック問題の正答率は何%でしたか	<input type="text"/> %
教育実施後の習熟度チェック問題の正答率は何%でしたか	<input type="text"/> %
本教育教材の他にご希望の教育教材はありますか	
ご意見・ご感想がございましたらご記入ください	

送信先 F A X 番号 0 4 - 2 9 9 6 - 5 1 9 9

ご協力ありがとうございました。

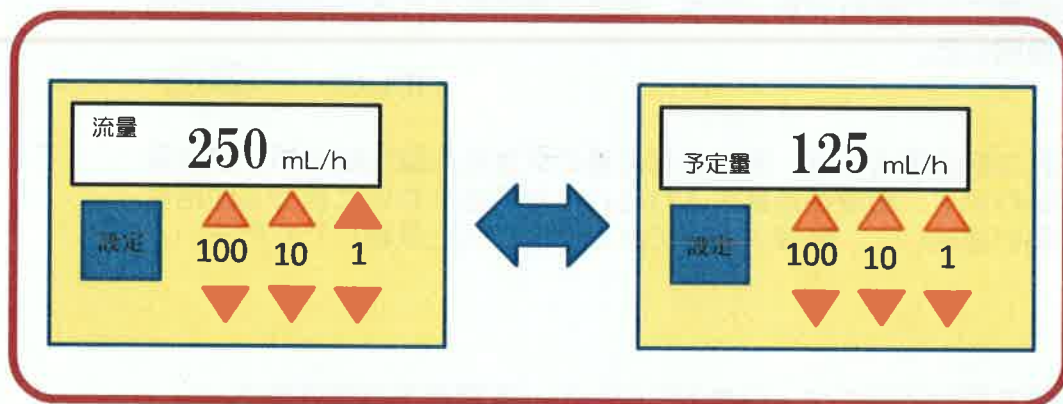
どうすれば事故は防げたでしょうか？



使用する前に点検できていれば・・・

予定量と流量

点検指示
予定量 250mL
流量 125mL/h



1つの画面で「流量」と「予定量」を切り替える仕様の輸液ポンプは、その量を逆に入力する可能性がある。

どうして起こったのでしょうか？



教育実施後の習熟度チェック問題 解答

問1

輸液ポンプの外装にひび割れがあったが、普通に電源を入れることができたので、そのまま使用した。

(正しい) ・ (誤り)

外装にひび割れがある場合には、落下させた等の大きな衝撃を輸液ポンプが受けた可能性があります。電源が普通に入れることができたからと言って使用せず、適正な部署に連絡して、輸液ポンプのメンテナンスを依頼してください。

問2

輸液ポンプの扉を開ける時には、日常的にクレンメを閉める必要はない。

(正しい) ・ (誤り)

チューブクランプ機能が付いているので、扉を開けても薬剤が急速に入ることはありません。しかし、チューブクランプからチューブを外してしまった場合には、急速に薬剤が注入されてしまいます。医療事故を防ぐために、輸液ポンプの扉を開ける時には、必ずチューブのクレンメを閉じる習慣をつけましょう。